

# クイックシート 貼付タイプ 施工手順



グラウンドサイン & グラウンドデザイン  
**SANKO**  
サンコー企画株式会社

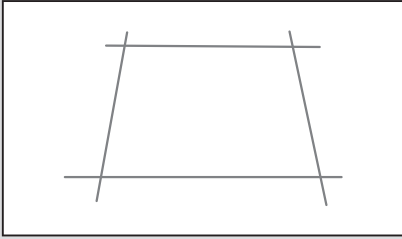
QRコードからシート施工動画がご覧になれます。

## ■ 施工方法

### 1 位置決め

設置位置を決め、作図します。

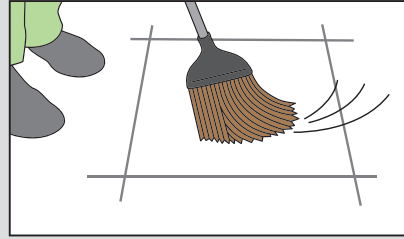
レイアウト図が入っている場合は、図にしたがって展開してください。



### 2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

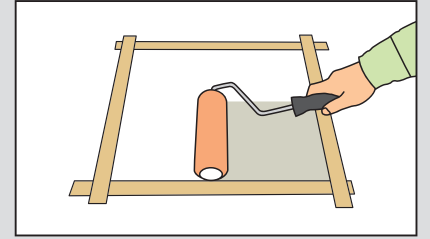
水分やゴミ・汚れ等を十分に取り除きます。  
凹部分は念入りに清掃を行ってください。  
設置面が濡れている場合は施工できません。



### 3 プライマー 塗布・乾燥

専用プライマーを設置面凹部まで均一に薄く塗布し、指で触れても**“付着しなくなるまで”**十分に乾燥させます。

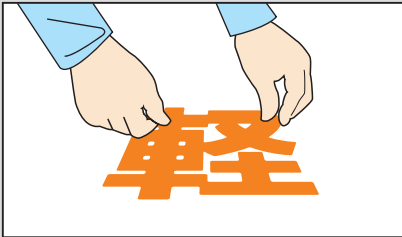
塗りすぎ・乾燥が足りないと剥がれの原因となります。



### 4 貼付

シートの裏紙(剥離紙)を少し剥がし貼付けます。

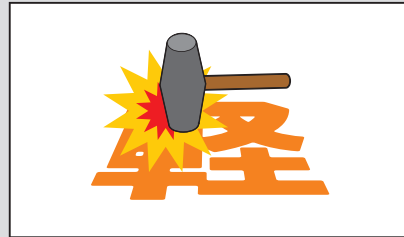
裏紙(剥離紙)を徐々に剥がしながら設置面に貼付けていきます。



### 5 圧着

シート中央から外側に向けてゴムハンマーなどで空気を抜くように圧着します。とくにエッジ部分は十分に圧着してください。

車のタイヤで圧着する際はシート上でハンドルをきらないように注意して下さい。



### 6 施工完了

シート圧着後、設置面の凹凸部までシートが接着していることを確認し、施工完了です。

設置面とシートの間に隙間があると、浸水し剥がれる恐れがあります。



## ■ 施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- シートは、施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁で保管してください。
- バーナー使用時は火気に十分ご注意ください。
- 専用プライマーに記載されている注意書きを必ずお読みください。
- 設置面の適合性・接着性を十分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。

## ■ 施工場所の注意点

※下記の場所については施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- アスファルト打設直後の設置面。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など)
- 車のタイヤの負荷が、かかる場所。(車が急発進・急停止する、車のタイヤのステアリングがきられる場所など)
- 施工後は設置面の原状復帰はできかねますのでご注意ください。
- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。
- コンクリート面への施工をする場合、屋外ではコンクリートに含まれる水分により、施工後シートに膨らみが生じることがあります。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

※裏面に「プライマー塗布の注意点」等が記載されておりますので必ずお読みください。

## ■プライマー塗布の注意点

設置面	経年・路面状態	下地処理方法	注意事項
アスファルト	施工直後	清掃後 プライマー塗布しない	
	施工後 1日～1週間	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする
	施工後 1週間以降	清掃後 プライマー塗布	
コンクリート	施工後 3か月未満	原則として施工しない	新設コンクリートは施工不可
	施工後 3か月以降～6か月以内	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	プライマーの吸い込み状況により何度が塗布
	施工後 6か月以降	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	
インターロッキング	コンクリート系	清掃後 プライマー塗布	
	陶板系	清掃後 プライマー塗布	
石 材	鏡面仕上げの場合	清掃後 プライマー塗布しない	
	鏡面仕上げ以外の場合	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする

## ■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 立掛厳禁で、平らな場所に平置きで保管ください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

## ■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

## ■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替え提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。